

第5 ロジックモデル

	個別施策（アウトプット）	中間成果（中間アウトカム）	目指す姿（分野アウトカム）
一般周産期医療	1 分娩の取扱いが困難な地域でも、医療連携により分娩に対応できる体制の維持	1 妊婦ができる限り身近な地域で妊娠・出産に向けた健康管理をすることができる 指標 ・ 里帰り出産受入れ率 2 妊婦ができる限り身近な地域で正常分娩やリスクの低い帝王切開術を受けることができる 3 妊産婦ができる限り身近な地域で妊娠から出産、産後の不安に対する相談を受けることができる	1 適切な周産期医療が提供され妊産婦が安心・安全な妊娠・出産をすることができる 指標 ・ 周産期死亡率 ・ 新生児死亡率 ・ 妊産婦死亡率 ・ 妊娠・出産について満足している者の割合 ・ この地域で子育てをしたいと思う親の割合
	2 助産師による妊産婦ケア及び分娩の普及・推進 指標 ・ 助産師外来を開設している医療機関数 ・ 妊婦健診を行っている助産所数 ・ 院内助産を行っている医療機関数		
	3 産科医、小児科医の育成及び確保に係る対策支援		
	4 妊産婦の産前・産後を通じた相談体制の支援 指標 ・ エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）の実施医療機関数、助産所数		
地域周産期医療	5 急変した妊婦等を迅速に受け入れられる体制整備 指標 ・ 母体搬送受入医療機関数	4 ハイリスク妊産婦が、適切な周産期医療、周産期救急医療を受けることができる 指標 ・ 周産期母子医療センターで取り扱う分娩数 ・ 母体搬送数のうち受け入れ困難事例の件数 ・ 新生児搬送数のうち受け入れ困難事例の件数 5 一般周産期医療機関と総合・地域周産期母子医療センターの連携が取れている 指標 ・ 小児周産期医療連絡会の開催回数	
	6 新生児医療が必要な場合には、総合周産期母子医療センター等へ迅速に搬送が可能な体制整備 指標 ・ 新生児搬送受入医療機関数		
総合周産期医療	7 ハイリスク妊産婦やハイリスク児等の高度医療、及び基礎疾患や産科合併症を有する妊産婦への医療体制維持 指標 ・ NICU等を有する医療機関数 ・ 産科を標榜する医療機関のうち、ハイリスク妊産婦共同管理料（1）の届出医療機関数の割合		
	8 地域周産期母子医療センター及びその他の周産期医療関連施設等との連携体制の強化 指標 ・ 地域連携分娩管理加算を届出している医療機関数		
療養・養育支援	9 先天性代謝異常スクリーニング検査及び新生児聴覚スクリーニング検査の実施体制の維持 指標 ・ 先天性代謝異常スクリーニング検査実施医療機関数・助産所数 ・ 新生児聴覚スクリーニング検査実施医療機関数・助産所数	6 新生児の先天性疾患等が早期に発見され、医療につながっている 指標 ・ 先天性代謝異常スクリーニング検査実施率 ・ 新生児聴覚スクリーニング検査実施率 ・ スクリーニング異常者のフォローアップ実施率 7 ハイリスク児・妊産婦が退院後の生活を踏まえた支援を受けることができている 指標 ・ 退院支援を受けたNICU,GCU入院児数	
	10 NICU等退院する児への退院支援 指標 ・ NICU入院児の退院支援を専任で行う者を配置している周産期母子医療センター数 ・ NICU長期入院児等が自宅に退院する前に家族が在宅ケアを行うための手技取得や環境の整備をする期間を設けるための病床を設置している周産期母子医療センター数		
有事の周産期医療	11 災害時小児周産期リエゾンの養成推進 指標 ・ 災害時小児周産期リエゾン任命者数 ・ 災害時小児周産期リエゾンの配置二次医療圏数	8 有事（災害時、新興感染症の発生・まん延時）を見据えた周産期医療体制が整っている 指標 ・ 災害時小児周産期リエゾンの県防災訓練参加回数 ・ 災害時小児周産期リエゾン連絡会議の開催回数	
	12 妊産婦・新生児等に対する災害医療体制の構築		
	13 新興感染症の発生・まん延時の体制検討		